

2025 年 3 月 31 日

各位

株式会社富山第一銀行

ダイエープロビス株式会社との
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

株式会社富山第一銀行（頭取 野村 充）は、ダイエープロビス株式会社（代表取締役社長 権瓶 浩司）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを抑制する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じた SDGs の達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

記

1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を抑制することで SDGs 達成を目指すファイナンスの取組みです。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対する KPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

2. 融資概要

契 約 締 結 日	2025 年 3 月 31 日
借 入 人	ダイエープロビス株式会社
融 資 金 額	50 百万円
資 金 使 途	運転資金
モニタリング期間	7 年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

3. 評価企業概要 ダイエープロビス株式会社

代 表 者	代表取締役社長 権瓶 浩司
本 社 所 在 地	新潟県長岡市宝 4 丁目 2 番地 25
事 業 内 容	土木建築工事、不動産賃貸・管理・仲介業、宅地建物取引業等
設 立 年 月	1974 年 6 月

4. SDGs 達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取 組 内 容	新住宅ブランドの施工拡大を通じた地域社会への貢献
インパクトの種類	社会面におけるポジティブインパクトの拡大
インパクト・カテゴリ	「住居」
関 連 S D G s	
対 応 方 針	・ SNS 広告を中心に集客力の強化を図り、商談回数を増加させることによる新潟県エリアでの住宅施工実績の積み上げ ・ 高い住宅性能（耐震・断熱・気密性）と個別性・デザイン性を備えた住宅新ブランド「D-GRID HOUSING」のブランド力強化
毎年モニタリングする目標と KPI	・ 住宅部門の全体の竣工棟数を 2027 年 12 月期までに累計 300 棟とする。 ・ 「D-GRID HOUSING」の竣工棟数を 2027 年 12 月期までに累計 22 棟とする。 ※2028 年 12 月期以降の目標は改めて設定する。 【2024 年 12 月期実績】 ・ 住宅全体竣工棟数：累計 81 棟 ・ 新規ブランド「D-GRID HOUSING」の竣工棟数：累計 1 棟



株式会社富山第一銀行
長岡支店 支店長 広野 茂則

ダイエープロビス株式会社
代表取締役会長 南雲 博文氏

【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：窪田
TEL 076-461-3871

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：ダイエープロビス株式会社



2025 年 3 月 31 日

株式会社富山第一銀行

目次

1. はじめに.	2
2. 会社概要.	3
(1) 企業概要	
(2) 経営理念	
(3) 指針	
(4) 沿革	
(5) 組織体制	
(6) セグメント構成	
(7) バリューチェーン	
3. 事業概要.	10
(1) 建築工事部門	
(2) 一般住宅建築部門	
(3) 不動産部門	
4. 職場環境.	16
(1) CSR	
(2) 女性活躍推進法	
(3) 現場の安全・美化	
(4) ダイエー会における表彰	
(5) 新規雇用、福利厚生	
(6) SDGs 宣言	
5. インパクトの特定.	21
(1) インパクトレーダーによるマッピング	
(2) インパクトカテゴリーに対する SDGs ゴール	
(3) 日本におけるインパクトニーズの確認	
(4) 新潟県の総合計画と SDGs 未来都市計画の確認	
(5) インパクトの特定	
(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認	
6. KPI の設定.	27
7. 管理体制とモニタリング.	30
(1) インパクトの管理体制	
(2) モニタリング方法	

1. はじめに

富山第一銀行は、ダイエープロビス株式会社に対してポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施するにあたって、同社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

分析・評価にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」および ESG 金融ハイレベル・パネル設置要領第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、ダイエープロビス株式会社の企業活動における包括的なインパクトを分析した。

富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの抑制に向けた取組みを支援するため、ダイエープロビス株式会社に対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	ダイエープロビス株式会社
調達形態	証書貸付
契約期間（モニタリング期間）	融資実行日から 7 年間
金額	50 百万円
資金用途	運転資金

2. 会社概要

(1) 企業概要

社名	ダイエープロビス株式会社
代表者	代表取締役社長 権瓶 浩司
本社	〒940-0016 新潟県長岡市宝 4 丁目 2 番地 25
事業内容	土木建築工事業 不動産賃貸・管理・仲介業 宅地建物取引業 一級建築士事務所
創立年月日	昭和 48 年 8 月 1 日
設立年月日	昭和 49 年 6 月 27 日
資本金	99 百万円
売上高	9,053 百万円 (2024 年 12 月期)
従業員	118 名 (2024 年 12 月 31 日時点)
許認可	特定建設業 国土交通大臣 (特-4) 第 24914 号 宅地建物取引業 新潟県知事 (14) 第 1619 号 一級建築士事務所 新潟県知事 (リ) 第 1809 号
所属団体	公益社団法人 全国宅地建物取引業協会

事業所一覧	■ 本社 新潟県長岡市宝 4 丁目 2 番地 25 TEL. 0258-24-1110 ■ 新潟支店 新潟県新潟市江南区早苗 4 丁目 1 番 26 号 TEL. 025-384-8435 ■ 東京営業所 東京都中央区日本橋室町 4 丁目 2 番 17 号 DK サンビル 8 階 TEL. 03-6206-1541 ■ テクニカルセンター 新潟県長岡市宝 4 丁目 1 番地 9 ■ GreenStyle.NAGAOKA（本社内） 新潟県長岡市宝 4 丁目 2 番地 25 TEL. 0258-24-1110 TEL. 0120-952-135 ■ ニコニコ住宅新潟 長岡店 新潟県長岡市寺島町 626 Freecall：0800-22-25252 ■ ニコニコ住宅新潟 新潟店（新潟支店内） 新潟県新潟市江南区早苗 4 丁目 1 番 26 号 Freecall：0800-22-25252 ■ ニコニコ住宅新潟 県央店 新潟県三条市須頃 1 丁目 13 Freecall：0800-22-25252
グループ会社	【ドアーズ 株式会社】 〒940-2103 新潟県長岡市古正寺町 108 - 1 TEL：0258-21-3751 【大栄管理 株式会社】 〒940-0016 新潟県長岡市宝 4 丁目 2 - 25 TEL：0258-24-1110

【直近の工事实績一覧】

工事名称	着工日	完工日
スーパーセンタームサシ長岡店移転増床工事	2023/12/10	2024/6/29
(株)サワ宮城第五工場 新築工事	2023/8/1	2024/8/30
ホンダパーツ日商長野 新築工事	2022/7/13	2023/5/31
長岡市大手通坂之上町地区再開発施設建築物（C街区）建設工事	2020/3/30	2023/6/2
介護付きホームメッツ長岡 新築工事	2022/7/1	2022/9/30
アドテックエンジニアリングC棟 新築工事	2022/3/22	2022/11/24
たんぽぽ保育園	2021/9/1	2022/3/31
JAえちご中越長岡北支店 新築工事	2023/1/24	2023/10/17
見附どろんこ保育園 新築工事	2023/9/1	2024/3/15
山の下こども園 新築工事	2022/8/23	2023/2/28
スタッフエース長岡オフィス 新築工事	2022/4/18	2022/12/19
済生会新潟県央基幹病院併設保育施設新築工事	2023/6/21	2024/3/15
教建経第36号 南中学校校舎等大規模改造工事	2023/7/3	2025/12/28
(株)アイエスエンジニアリング第二工場 新築工事	2022/11/10	2022/11/10
東区山木戸五丁目ナーシングホーム 新築工事	2022/5/15	2022/10/15
アピタ新潟西店 外装及びトイレ改修工事	2021/9/1	2022/4/30
青葉区台原七丁目グループホーム 新築工事	2022/11/30	2023/6/30
ムサシ十日町店 改装工事	2022/6/27	2022/9/30
西裏館グループホーム 新築工事	2022/11/1	2023/4/10
ホンダパーツ日商東京 改装工事	2022/10/4	2022/12/10
北陸自動車道 黒埼PA駐車ます上屋改築工事	2022/6/16	2024/4/5
緑水工業(株) 有機物肥料加工工場 新築工事	2023/6/1	2023/12/20
もみ殻資源循環システム建屋建設工事	2022/4/6	2022/8/18
旭岡中学校共同調理場整備工事	2021/7/1	2022/2/28
(株)トラックス長岡支社屋本体 新築工事	2023/7/3	2023/12/15
消第1号 小国出張所整備工事	2023/7/3	2024/8/31
教建経第27号 中之島中央小学校校舎等大規模改造工事	2024/6/25	2026/3/31
コメダ珈琲店 長岡堺町店 新築工事	2024/6/6	2024/8/30

(2) 経営理念

ダイエープロビスグループ理念

BUILD！ YOUR DREAMS

- ・わたしたちダイエープロビスグループは、技術と誠意でお客様の幸福と快適な環境をプロデュースします。
- ・わたしたちは仲間とともに力を合わせ、変化する時代の風を感じ、可能性に挑戦します。
- ・わたしたちはお客様との信頼関係を大切にし、サービスマインド豊かで、地域から愛される企業を目指します。

(3) 指針

■ 挑戦

何気ない風景からの学びと探求心・日常的な変化を楽しむ心・失敗を糧にする思考

■ 信頼

未来を見据えた計画と行動力・偏りのない広い視野・コンプライアンス理解のある行動

■ 団結

協働から価値を生む喜び・役割の理解と柔軟な働き・バランスの取れた思考と行動

■ おもてなし

真意と背景を創造・感動を原動力に・他社への敬意

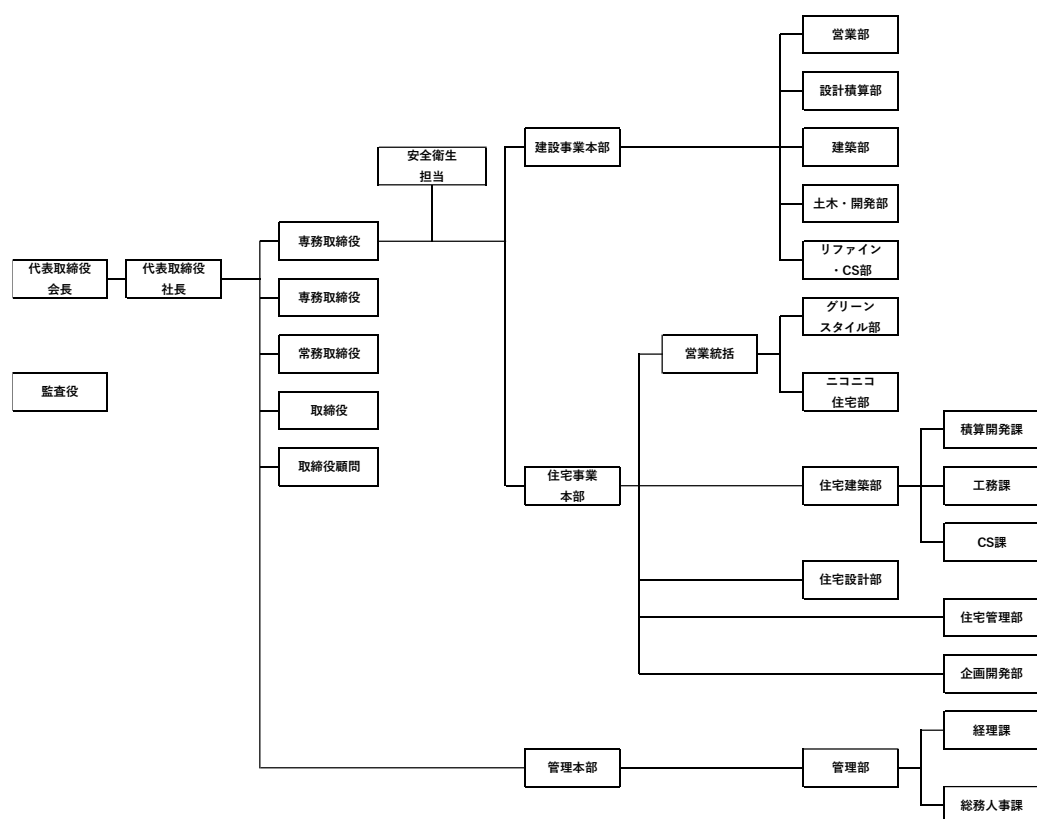
■ 創造

当事者意識をもって寄り添うことで潜在的課題を発見し、独自性をもった効果的な提案で“幸せ”を創造する

(4) 沿革

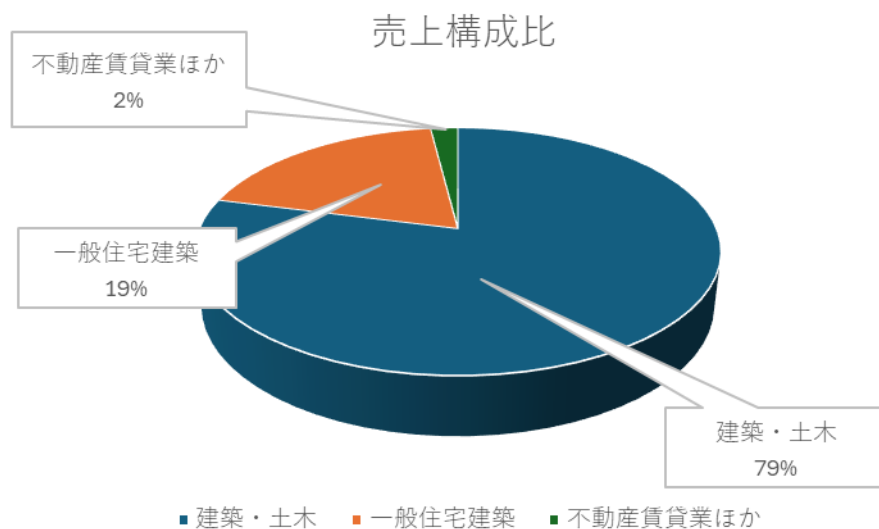
年月	概要
1973 年 8 月	建築業としてダイエー建設を創業
1973 年 9 月	ダイエー建設として一般建設業許可を取得
1974 年 6 月	資本金 300 万円にてダイエー建設株式会社設立
1978 年 3 月	特定建設業登録
1984 年 4 月	ダイエー建設一級建築事務所を登録
1985 年 8 月	ドアーズ株式会社を設立
1987 年 2 月	グローバルホーム株式会社を設立
1999 年 5 月	本社社屋改築
2004 年 6 月	ダイエープロビス株式会社へ社名変更 大栄管理株式会社を設立
2004 年 9 月	テクニカルセンター新設
2006 年 3 月	デザイン住宅オリジナルブランド「GreenStyleNagaoka」始動
2006 年 9 月	「GreenStyleNiigata」をオープン
2007 年 6 月	県営プールネーミングライツスポンサー決定 「ダイエープロビスフェニックスプール」
2011 年 2 月	株式会社エコテックワールド岩手を設立
2014 年 8 月	「Panasonic リフォーム Club」リフォーム事業を開始
2017 年 12 月	「ニコニコ住宅新潟」ローコスト住宅部門の開設
2019 年 4 月	代表取締役社長に権瓶浩司が就任、代表取締役会長に南雲博文が就任
2024 年 9 月	新ブランドとして「D - GRID HOUSING」を始動

(5) 組織体制



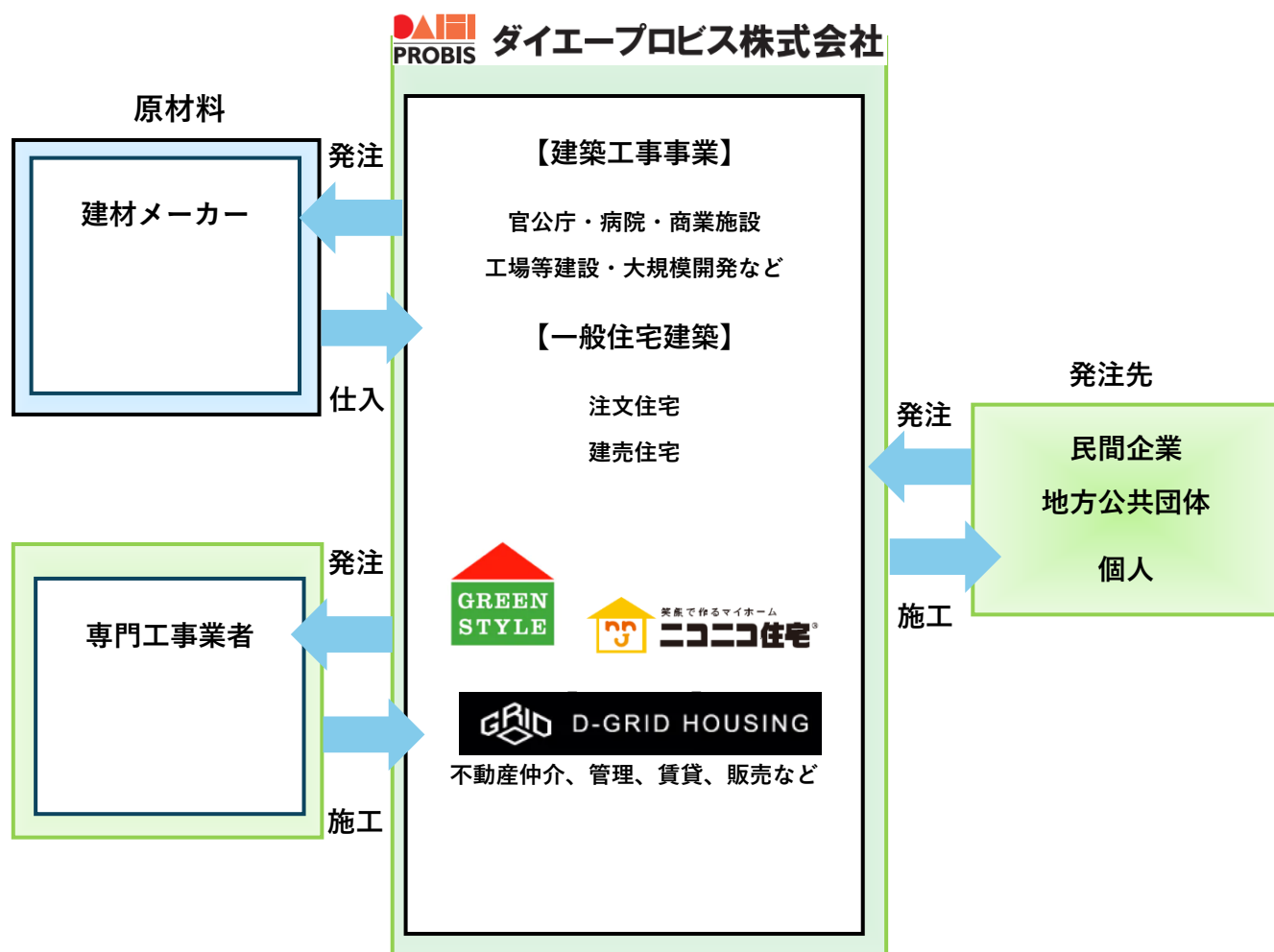
(6) セグメント構成

当社事業セグメントは、オフィス・商業施設・官公庁建設工事を中心とした建築工事が79%と売上の大半を占める。



セグメント種類	細目	割合
建築・土木	官公庁、病院、商業施設、工場、大規模開発など	79%
一般住宅建築	新築注文住宅、建売住宅	19%
不動産賃貸業ほか	不動産賃貸、仲介、管理など	2%

(7) バリューチェーン



3. 事業概要

(1) 建築工事部門

当社は、地元長岡市を中心に、「公共施設」「商業施設」「医療・福祉施設」「工場等の事業用建物」など、様々なニーズに対応が可能な総合建設業者として確固たるシェアを維持している。時代とニーズに対応する施工技術を有し、新潟県内有数の地場ゼネコンとして、様々な規模・用途の建物の施工実績を豊富に有している。

業歴も長く、地元でのネームバリューや200社以上の協力会社を持つ地域密着性から、様々なニーズの引合いがある中で、お客様のご要望を細かく汲み取り、予算・工期・周辺環境など条件に合わせた提案、施工を行っている。

I. 大規模都市開発

大規模商業用地造成、大規模宅地開発、道路工事やインフラ計画を行っている。

街づくりの基盤整備は、明日をひらく大切な事業となる。当社は基本である安全で安心できる街づくりの上に、安らぎを与える公園整備も行い、素敵な街の未来をプロデュースしている。



【境町区画整理事業・アーガレリア商業開発】



【喜多町区画整理事業】



【ガーデンズファミリー®若草】



【Green Side Villa 亀田向陽】

II. 公共・教育・医療・福祉施設

当社は保育園から大学までそれぞれの特性に合わせた「企画」「設計」「施工」に取組み、「施設のありかた」を追求した建築を目指し、実現させている。



【長岡市立劇場】



【東京都小平市リサイクルセンター】



【長岡大学】



【ひごし中央こども園】



【桜ガーデンプレイス福住】



【新潟中野山郵便局】



【エイシン長岡日本語学校】



【金峯神社本殿・拝殿】

III. 商業施設

当社は経営に直結するトータルコストを意識しながらも、創造性豊かな設計力と確かな経験に基づき、施工を実施している。一貫管理体制であり、スムーズかつスピーディーな対応で発注者から高い評価を得ている。



【ムサシ長岡店】



【ウエルシア長岡稲葉町店】



【PLANT-5】



【アネーリ長岡】

IV. 社屋・工場

社屋や工場については長期間利用という特性を見越し、耐久性が高く、拡張性を考えた設計を行い、多種多様な業態の建設に基づく経験とノウハウを提案、施工に活かしている。



【JA 越後ながおか】



【ホンダカーズ日商 新潟営業所】



【ホンダカーズ長岡 喜多町支店】



【株式会社東京ロストワックス工業】

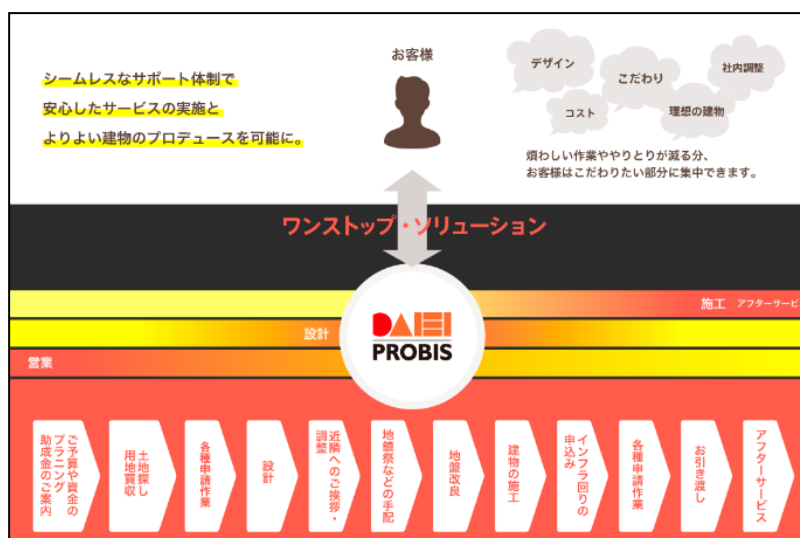
(2) 一般住宅建築部門

当社は「GreenStyle」、「ニコニコ住宅」、「D - GRID HOUSING」の住宅ブランドを有し、注文住宅、建売住宅、リフォーム工事を新潟県全域で展開している。

コストパフォーマンスを意識したブランドなどを有し、より多くのお客様に、より多くの要望にお応えできるようなラインナップを有している。地元、新潟の気候を知り尽くした設計やデザイナーによるライフスタイルの提案をしている。あわせて、最長 60 年の長期保証を行い、アフターサービスにも力を入れている。

【特長】

➤ お客様の様々なニーズに応えるワンストップソリューションの提供



ブランド 「GreenStyle」

【特徴】

設計士とともに作るライフスタイルを重視したデザイナーズ住宅。敷地の環境特性を読み解き、オーナー様のご要望を最大限に実現。「設計士とつくる自由でこちよい家」を提案、建築を実現させていることが特徴。



ブランド 「ニコニコ住宅」

【特徴】

ムリをしない家づくり、家賃と同等の月々支払いで、「趣味や好きなことをあきらめないライフスタイルの充実」をテーマに高品質を追求しながら 50 年のノウハウでコストを抑えた高品質ローコストが当ブランドの特徴。



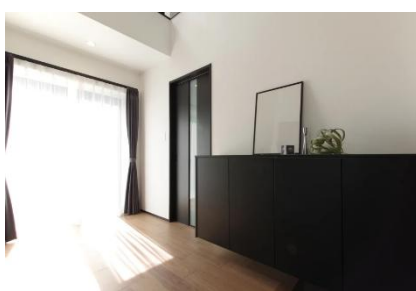
ブランド 「D - GRID HOUSING」 (令和 6 年 9 月販売開始)

【特徴】

住宅性能を追求すること、デザインを整然としつらえることの両方を実現し、お客様の自由な発想に未来のライフスタイルまで豊かにできる間取りを提案、実現していく。コストパフォーマンスの高い、理想的な家を提供していく。

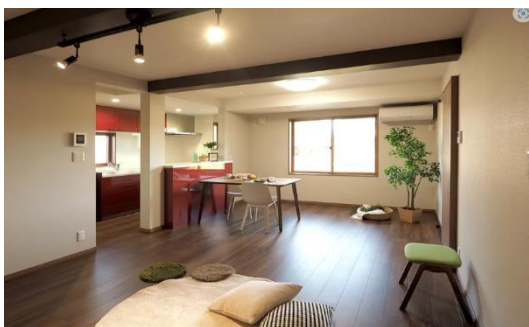
近年、資材高騰などの影響もあり住宅価格も上昇傾向にある。その中でお客様の予算と住居ニーズなど、より多くのニーズに応え、より多くのお客さまに満足頂き、より多くのライフスタイルにあった住環境を提供するために新ブランドを開始。3つのブランドを持つことで、すべてのお客さまのニーズに応えることができる体制を構築。

これにより**豊かな自然としなやかに共存する「住んでよしの新潟」のあるべき姿とも合致し、すべての県民がそれぞれの地域で、将来にわたって安全に安心して住み続けられる新潟の実現**に資する取り組みとなる。



リフォーム

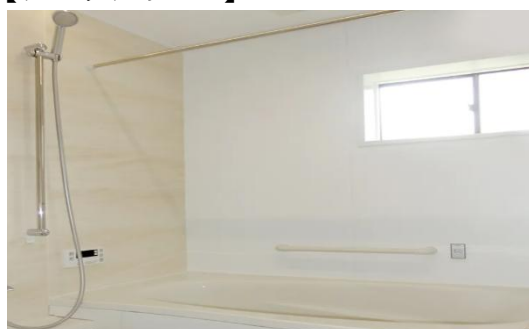
「Panasonic リフォーム Club」の看板にて営業。長岡を中心とした営業エリアでは、知名度、ブランド力が高い。お客様の要望に柔軟に対応し、満足度を得ている。



【フルリフォーム】



【喫茶店⇒住宅へ】



【水回り工事】



【バリアフリー対応】

(3) 不動産部門

地域ごとに異なるニーズを調査し、分析を行い不動産アドバイザーとして、オーナー様の様々な要望に応えながら不動産仲介、不動産賃貸・管理、土地活用などの提案、支援している。

相続対策

事業を計画する前に、その資産をどのように引き継いでいきたいのかお話を伺い、それを実現するためには誰の名義・資金で計画を行うのが良いのかをアドバイスいたします。

税務対策

経験とノウハウによる効率的な節税で不動産の活用度と収益性が高まるアドバイスをいたします。

管理業務

お引渡し後、ダイエープロビスグループのドアーズとサポートいたします。エリアナンバーワンの管理棟数と高い入居率の実績でオーナー様の安心をバックアップいたします。

市場調査

交通機関・学校・病院・買い物などの周辺環境、また近隣マンション・アパートの入居状況や企業や大学などの誘致状況を詳しく調査いたします。

募集・管理計画

事業計画どおり、もしくはそれ以上の成果が出るように、効果的な募集・管理計画をご提案し、また、難しい契約書の内容についてもチェック・アドバイスいたします。

土地の下取り

トータルサポートアドバイザーを目指すダイエープロビスは、お客様の資産活用を総合的にバックアップいたします。当社は、建物を建てる建築業の仕事はもちろんのこと土地を扱う不動産業としてもプロフェッショナルです。そんな当社だからこそできる様々なご提案のうちのひとつが「土地の下取りと賃貸住宅の建築を組み合わせた事業」です。

事業収支計画

市場調査に基づいた基本プランを作成し、より安全・確実な事業計画をアドバイスさせていただきます。また、金融機関からの資金調達も直接代理交渉させていただくほか、利用可能な公的補助金などもご紹介いたします。

一括借り上げ

ご希望のオーナー様には、ダイエープロビスグループ企業の大栄管理株式会社が行う一括借り上げシステムをご提案いたします。更なる安心をご提供いたします。

4. 職場環境

(1) CSR

～ 地元根ざした企業活動と社会貢献するサービス事業者としての活動 ～

当社は、建設・不動産分野において、企業・教育・介護福祉・環境などの専門分野の事業者様とコラボレートしながら建築物をトータルプロデュースし、あらゆる角度から街づくりに貢献している。当社の事業である総合建設プロデュース業を通じ、社会的使命を果たすことは当然だが、動物愛護活動や地域イベントへの参加や長岡花火大会への協賛、当地域でのスポーツ振興のため「ダイエープロビスフェニックスプール」へのネーミングライツスポンサーなど、社会貢献に努めている。

主な加盟団体や取組みの抜粋

- I. ダイエープロビスフェニックスプールネーミングライツスポンサー
- II. 一般財団法人新潟県動物愛護協会・中越動物愛護協会加盟
- III. NPO 法人スポーツドッグ協会新潟
- IV. 一般財団法人ジャパンドックパークソサエティー など



(2) 女性活躍推進法

当社は女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、実践している。

【課題】

- ① 有給休暇取得率の低い雇用管理区分がある
- ② 女性には向かない仕事・職場であるとの意識が管理職や社員の中にある

【目標】

- ① 有給休暇取得率を 50%以上とする
- ② 女性を主体としたチームによる企画及びプロジェクトの創出や情報発信をする

【取組み内容】

- ① 有給休暇取得を推進する取組みを実施する
- ② 企画＞立案＞実行の過程において、積極的に女性ならではの視点を採り入れ活かす

(3) 現場の安全・美化

【スローガン 現場、きれい。日本一】

当社は、お客様の住宅建設のすべての工程において「現場きれい日本一」と銘打って現場の清掃活動に力を入れている。建設の規模を問わず全ての現場において「いつでもお見せできる工事現場」を心がけて施工している。

～目的～

- ・ お施主様の大切な建物をいつでもご覧いただけるようキレイに保ちつづけること。
- ・ 近隣の皆様へのご迷惑や不快感を最小限に留め、お施主様にもご迷惑がかからないようにすること。
- ・ 安心・安全な工事現場を造り、品質を高めること。

現場きれい日本一



■現場のルール

1. ご近隣のみなさまへの挨拶
2. 現場敷地内は『禁煙』（喫煙する場合は車内のみ）
3. 日曜日、夜間作業は原則禁止（作業時間 8:00～18:00）
4. 昼食休憩前の10分間、現場作業終了前の10分間を清掃時間とする。
5. バケットへの生活・家庭ゴミの投棄禁止

■養生・清掃

- ・ 作業場は、常に整理整頓を心掛け、1日の作業終了時には終業清掃を行う。
- ・ 床や欄等、各部の仕上がり箇所は養生シートを覆ってキズのつかないよう早急に養生を行う。
- ・ 室内は土足禁止、汚れを室内に持ち込まないように注意する。

■安全対策

1. ヘルメット
 - ・ 足場上作業、屋外作業、資材搬入作業時にはヘルメットを着用する。
 - ・ ヘルメットには使用者の氏名を記載し、使用時にはあごひもの固定を行う。
2. 仮設足場
 - ・ 足場上では飛来落下物に注意し、資材は放置しない。
 - ・ 足場床材、手すり、養生シートは取外しをしない。
 - ・ 作業上やむを得ず取外しをする場合は、足場組立作業主任者 有資格者が行い、作業完了後、必ず復旧する。
3. 開口部
 - ・ 転落防止のため、速やかに仮設手すりの設置を行う（階段開口部等）。
 - ・ また、資材落下防止のため中本を設置する。
4. 覆立・はしご
 - ・ 使用材の破損や不備の無いことを確認し、転倒防止のための確認を行う。
 - ・ 上下階への移動ははしごを設置し、脚立による移動を行わない。
 - ・ また、はしごは固定する。
5. ゴミは飛散防止のためバケットに投棄する。
- ・ また、強風時にはシートによる飛散防止を実施する。
6. 終業時、ドア及びサッシの施錠を徹底する。
7. 作業終了時には、仮囲い・バリケードを設置し第三者の立入禁止処置を行う。
- ・ バリケードは必ず敷地の中に入れる。



安全大会の実施

当社が安全大会を実施することの目的は、様々な原因による工事現場で発生する怪我などの事故である「労働災害をなくす」ことである。事故のない現場は、工事現場で働く全員とその家族の皆様、そして、建物の建築をご依頼いただいている施主様にとって、一番に大切にしなければならぬことであり、開催し安全に対する意識を高めている。

～安全大会の様子～



～管理体制の一例～

[illegible]

写真	写真	写真	写真	写真	写真
施設写真 写真 	施設写真 写真 	施設写真 写真 	施設写真 写真 	施設写真 写真 	施設写真 写真 
施設写真 写真 	施設写真 写真 	施設写真 写真 	施設写真 写真 	施設写真 写真 	施設写真 写真 

[illegible]

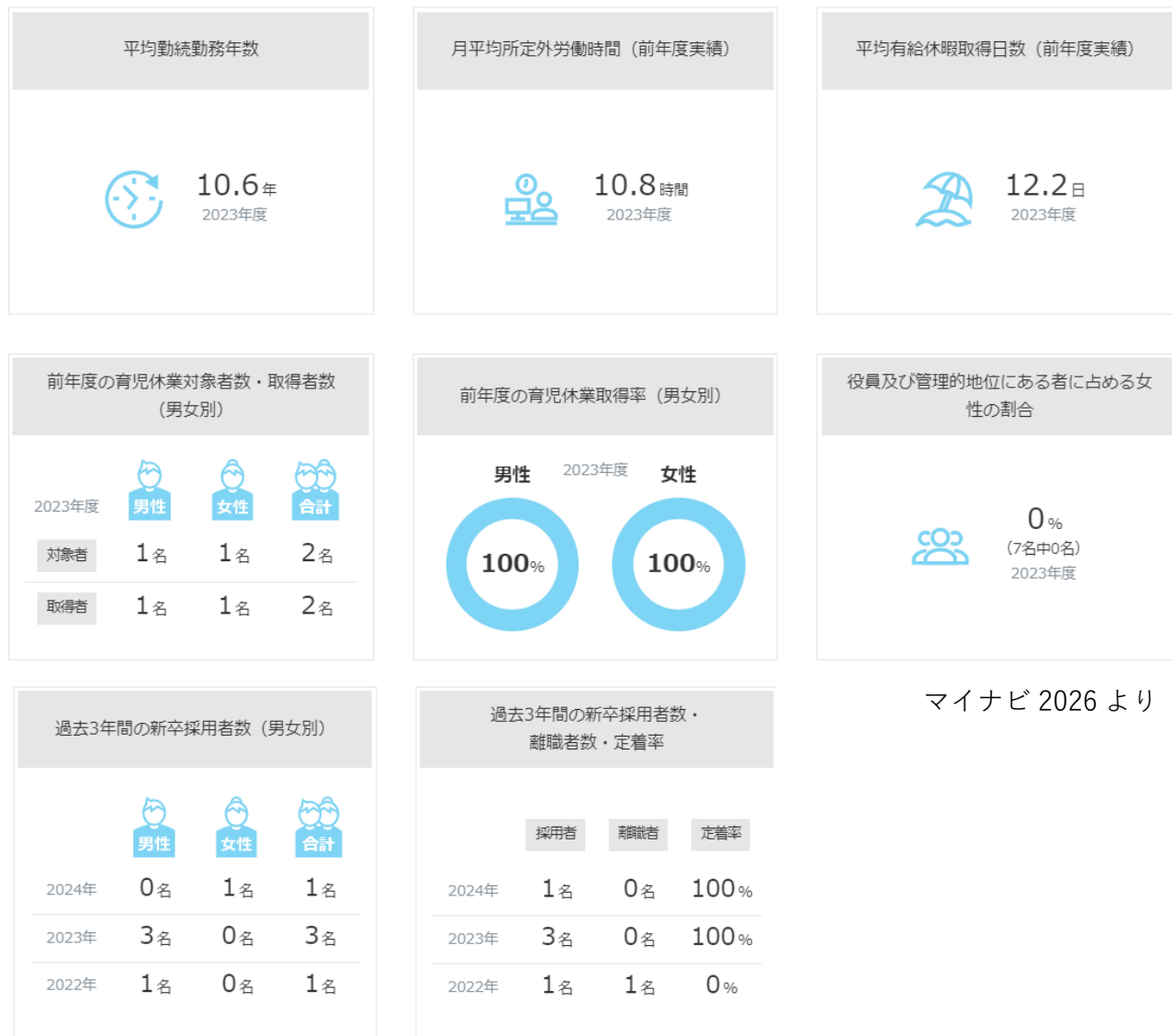
(4) ダイエー会における表彰

ダイエー会とは、当社の協力企業で運営している会であり、同志である。協力企業との関係性向上やコミュニケーションを図ることなどを目的としながら運営、表彰している。本表彰については建物建設の紹介や建設において「品質の管理」「安全管理」「効率のよい工事」「情報提供」を実施した企業を対象に表彰している。



(5) 新規雇用、福利厚生

当社では「長岡地区で働きたい会社 No.1」を目指し、「気持ちよく働いて元気に最高のパフォーマンスを発揮して欲しい」という思いで、各種の福利厚生に力をいれ、社員の充実感やスキルの向上のため、各種の手当や報奨金・資格取得の支援を行っている。



マイナビ 2026 より

資格取得制度

社員の資格取得支援のために、技能実習を利用した社員に対しての受講料を補助し、資格取得を推進している。主に、土木施工管理技士、建築施工管理技士、電気工事施工管理技士、管工事施工管理技士、造園施工管理技士、宅地建物取引士である。

	2021 年 12 月期	2022 年 12 月期	2023 年 12 月期	2024 年 12 月期
資格取得人数	4 人	8 人	17 人	15 人

(6) SDGs 宣言

当社は、2023 年 1 月に新潟県の SDGs 宣言を行い、新潟県の Web サイトおよび同社 Web サイトでも具体的な取組みについて掲載している。

令和 5 年 1 月 1 1 日

SDGs 達成に向けた宣言書

所在地： 新潟県長岡市宝 4 丁目 2 番地 2 5

名 称： ダイエープロビス株式会社

代表者： 代表取締役 権瓶 浩司

当社は、下記のとおり SDGs 達成に向けた取組を行い、積極的に SDGs を推進することを宣言します。

記

分野 (三側面)	具体的取組	2030 年に向けた指標 (現状値：2021 年度)	関連する ゴール
環境	【現在行っている取組】 建設廃材のリサイクル（石膏ボード）	石膏ボードリサイクル量	1 2
	【今後新たに行う取組】 回収率を上げるために、廃材削減・再活用を啓発する	【現状値】20 トン 【目標値】25 トン	
社会	【現在行っている取組】 資格手当や合格報奨金制度などを策定し、従業員の資格取得を促している	年間資格取得数	4 8
	【今後新たに行う取組】 若手従業員向け資格取得キャンペーンの実施、講習会への参加などを新たに施策し、資格取得をバックアップする	【現状値】6 【目標値】1 0	
経済	【現在行っている取組】 県産木材を活用した住宅づくりを通し、地域活性化への貢献している	県産材使用住宅棟数	1 2
	【今後新たに行う取組】 継続して県産材の使用を、お客様に推奨していく	【現状値】2 0 棟 【目標値】3 0 棟	
その他	【現在行っている取組】		
	【今後新たに行う取組】	【現状値】 【目標値】	

5. インパクトの特定

(1) インパクトレーダーによるマッピング

当社のバリューチェーン分析の結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査。

同社の主要事業は、国際産業標準分類に則り、「建築工事業（4100）」「その他の土木工事業（4290）」「料金制または契約制による不動産業（6820）」を適用した。また、川上の事業には「建築用木材及び建具製造業（1622）」「建築材料、金物類及び配管・暖房設備器具卸売業（4663）」を適用した。川下については様々な業種の企業、地方公共団体、個人が該当するが、分析範囲が多岐に渡るため割愛する。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、当社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

	国際産業標準分類	川上の事業				同社の事業					
		【1622】 建築用木材及び 建具製造業		【4663】 建築材料、金物及び配 管・暖房設備器具卸売業		【4100】 建築工事業		【4290】 その他の土木工事業		【6820】 料金制または契約制によ る不動産業	
		Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水（入手）										
	食糧										
	住居	◆		◆		◆◆				◆	◆
	健康・衛生			◆		◆	◆		◆	◆	◆
	教育										
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆◆	◆	◆	◆
	エネルギー			◆		◆	◆				
	移動手段										
	情報										
	文化・伝統						◆		◆	◆	◆
	人格と人の安全保障						◆				
	正義・公正										
	強固な精度・平和・安定										
環境	水（質）		◆		◆		◆		◆		
	大気		◆		◆		◆		◆		
	土壌						◆		◆		◆
	生物多様性と生態系サービス				◆		◆		◆		◆
	資源効率・安全性		◆				◆		◆		◆◆
	気候		◆		◆		◆◆		◆		◆◆
	廃棄物		◆		◆		◆◆		◆		◆
経済	包括的で健全な経済	◆				◆		◆◆		◆	
	経済収束					◆		◆◆			

インパクトマッピングにおいて、当社事業と特に影響が大きいと考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブで「住居」「雇用」「包括的で健全な経済」「経済収束」、ネガティブでは「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」が挙げられる。

一定の影響があると考えられるインパクトカテゴリーでは、ポジティブで「健康・衛生」「エネルギー」「文化・伝統」が、ネガティブで「住居」「健康・衛生」「雇用」「エネルギー」「文化・伝統」「人格と人の安全保障」「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」が挙げられた。なお、「文化・伝統」「経済収束」については当社事業と関係が希薄のため分析対象外とする。

当社は1973年の創業当初より地元に着目した建築事業を展開しており、地元を代表する元請事業者として民間・公共工事で数多くの建築実績を積み上げている。建築工事部門における個人向け住宅部門では、低価格帯から高価格帯と様々なお客様ニーズに対応した住居を提供し、不動産事業では、土地の活用から仲介、管理、賃貸など、お客様の不動産に関する幅広いニーズに応える等、総合建設業者として幅広い事業を行っている。

当社の中心事業である建築工事部門・住宅部門のインパクトの検証を行う。

建築工事部門では、公共施設、商業施設、医療・福祉施設、工場等の事業用建物などの幅広いニーズに柔軟に対応できるスキルやノウハウ、県内外での数多くの工事実績が当社の特徴である。

住宅部門では、3つのブランドを有し、注文住宅、建売住宅、リフォーム工事を新潟県全域で展開している。2024年9月に新ブランドを立ち上げ、より多くのお客様に、より多くの要望にお応えできるようにラインナップを整備した。以上の顧客にあわせたブランディング戦略により、地場優良ハウスメーカーとしての側面からも住民及び地域の暮らしを支えており、「住居」「健康・衛生」「エネルギー」「包括的で健全な経済」の面でポジティブ・インパクトを創出・拡大させている。

また、住宅部門では、建築現場の安全管理も徹底しており、現場きれい日本一を掲げて、定期的に安全パトロールを実施している。各現場の安全性を確認し、従業員、お客様、職人、業者が安全に作業できるよう確認作業と環境改善を行うことで、「雇用」「人格と人の安全保障」のネガティブ・インパクト抑制を実現させている。

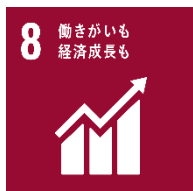
社会面については、「雇用」において、安定雇用による生計へのポジティブな影響がある一方、労働者の健康面と安全性のリスク等のネガティブな影響がある。しかしながら当社では、「長岡地区で働きたい会社 No.1」を目指し、「気持ちよく働いて元気に最高のパフォーマンスを発揮して欲しい」という思いで、各種福利厚生に力をいれ、社員の充実感やスキルの向上のため、各種の手当や報奨金・資格取得の支援を行っている。結果として若い従業員を「当社で働きたい」と惹きつける要因となっていると評価でき、事実新卒者を中心に継続的な採用を実現しており、地域で活躍する“人”を増加させているという「雇用」のポジティブインパクトの拡大に寄与している。また、有給休暇取得率の向上、時間外縮減、育児休業取得率の向上など福利厚生制度の充実が図られており、「雇用」のネガティブ・インパクトの抑制が行われている。

環境面については、当社は新潟県産材の利用を推進しており、県外産材の利用と比較して輸送距離の短縮が図られ、排出する二酸化炭素の低減に取り組んでいる。当社は県産材を利用することで地産地消の効果があり、循環型社会の構築に貢献している。県産材（木）を積極的に使うことで、植える⇒育てる⇒収穫する⇒利用・使用のサイクルが好循環していくことで、適切な森林整備、森林を守ることにも繋がり、災害の防止、水質源の確保、生態系の維持などにも寄与していく取り組みとなっている。

また、当社は建築現場における石膏ボードのリサイクルを推進しており、産業廃棄物の削減、環境負荷低減に取り組んでいる。建築現場で発生した廃棄する石膏ボードを一般廃棄物と分別して収集し、集荷（処分）することで石膏ボードのリサイクルに取り組んでおり、「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」のネガティブインパクト抑制が図られている。

(2) インパクトカテゴリーに対応する SDGs ゴール

当社の売上高は全て日本における事業であり、日本の SDGs ダッシュボードから当社のインパクトとの関係性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高い SDGs のゴールは下記となる。



(3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク (SDSN) に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応する SDGs のゴール 4 項目のうち、2 項目が大きな課題が残る、2 項目が重要な課題が残る項目である。日本に課題が残る項目が 4 項目 4 項目該当していることから、日本における同社のインパクトは重要度が高いと判断する。



出典：SDGsダッシュボード

(4) 新潟県の総合計画とSDGs 未来都市計画の確認

新潟県では、令和4年4月に改定した「新潟県総合計画」において、SDGsの視点を踏まえながら計画を推進するため、各施策とSDGsの17のゴールとの関係を明示している。

SDGsの17のゴール		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
総合計画に掲げる施策		1 平和と公正	2 気候変動	3 健康と福祉	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう
将来像																		
政策展開の基本方向		貧困をなくそう	気候変動をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任 つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさも守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう
I 安全に安心して暮らせる、暮らしやすい新潟																		
1 安全に安心して暮らせる新潟																		
(1) 一段加速した防災・減災対策の推進		●								●		●		●				●
(2) 安全・安心な地域を支える基盤づくり			●						●	●		●	●	●				
(3) 原子力防災対策の推進												●						
(4) 安全で安心なまちづくり		●	●	●	●					●		●	●				●	
(5) 豊かな自然・環境の保全と未来への継承		●	●	●			●	●	●	●		●	●	●	●	●		●
(6) 拉致問題の全面解決に向けた取組						●											●	
2 県民すべてが生き生きと暮らせる新潟																		
(1) 健康立県の実現	●	●	●	●						●	●	●					●	●
(2) 子どもを生き育てやすい環境の整備	●	●	●	●	●				●		●	●					●	●
(3) 住み慣れた地域で自立した生活が続けられる福祉の充実	●	●	●	●	●				●		●	●				●	●	●
3 誰もが社会参画できる新潟																		
(1) 誰もが個人として尊重され、共に暮らせる社会の実現	●	●		●	●						●						●	●
(2) 共同参画社会の実現			●	●	●			●			●	●					●	●
II 地域経済が元気で活力のある新潟																		
1 多様な人や文化が交わる賑わいのある新潟																		
(1) 多様な地域資源を活かした交流人口の拡大				●				●				●	●					●
(2) 更なる拠点性の向上と北東アジアをはじめとする諸外国との交流の推進				●				●	●	●	●							●
2 活力のある新潟																		
(1) 挑戦する人や企業が生まれ、集まる環境の整備				●				●	●	●								
(2) 多様な雇用の場の確保と働きやすい環境づくり				●	●				●	●	●							
(3) 付加価値の高い持続可能な農林水産業の実現		●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
(4) 魅力あるまちづくりと定住の促進	●	●		●			●	●	●	●		●	●	●				●
III 県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟																		
1 県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟																		
(1) 将来の夢や希望を育みなえる教育の推進	●			●						●							●	●
(2) 地域の産業・社会を支える人づくり	●	●	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●		●
(3) スポーツと文化の振興			●	●					●			●	●					●

加えて、新潟県は「SDGs 未来都市計画」において、豊かな自然としなやかに共存する「住んでよしの新潟」をテーマに 2030 年のあるべき姿を実現するため各施策に取り組んでいる。

豊かな自然としなやかに共存する「住んでよしの新潟」

美しく豊かな自然と共存し、その恩恵を最大限活用するとともに、自然災害に強い社会経済基盤をハード・ソフト両面から構築し、県民や地域が自ら主体となってこれを支え、人口減少・少子高齢社会にあっても、**全ての県民がそれぞれの地域で、将来にわたって安全に安心して住み続けられる新潟の実現**をめざします。



新潟県 HP「新潟県 SDGs 未来都市計画」より抜粋

■ 当社グループの取組みとの関連性

今回特定したインパクトと対応する SDGs のゴール 4 項目のうち、4 項目が新潟県の「住んでよしの新潟」の実現に向けて設定しているゴールと合致。加えて、当社の技術と誠意でお客様の幸福と快適なプロデュースする理念のもと取り組んでいる「街づくり」は、正に新潟県の県民や地域が安全、安心に住み続けられる基盤を提供していることから、新潟県において当社のインパクトは重要度が高いと判断する。

（５）インパクトの特定

- **新住宅ブランドの施工拡大を通じた地域社会への貢献**
- **地域の環境負荷低減に向けた取組みの強化**
- **全従業員が働きがいを持ち続ける職場環境の提供**

（６）特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

当社のバリューチェーン分析、インパクトマッピング、日本におけるニーズや新潟県の SDGs 未来都市計画のニーズや方向性等を踏まえて、同社と特に関連性の高いインパクトを整理。特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは「**新住宅ブランドの施工拡大を通じた地域社会への貢献**」「**地域の環境負荷低減に向けた取組みの強化**」「**全従業員が働きがいを持ち続ける職場環境の提供**」である。

富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の４点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「**新住宅ブランドの施工拡大を通じた地域社会への貢献**」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「4.健全な企業経営」という観点で、「**地域の環境負荷低減に向けた取組みの強化**」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」という観点で、「**全従業員が働きがいを持ち続ける職場環境の提供**」では「4.健全な企業経営」の観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じて SDGs 達成に向けた取組みの支援を目指す。

6. KPI の設定

● 新住宅ブランドの施工拡大を通じた地域社会への貢献

住宅の新ブランド「D-GRID HOUSING」の立ち上げにより、豪雪エリアである新潟県での暮らしをサポートする機能性を備えた安心安全な暮らしを住民に提供していく。同時に、様々なライフスタイルに合わせた個性やデザイン性に優れた住空間を提供することで地域住民の理想とする暮らしの実現に貢献していく。

項目	内容
インパクトの種類	・ 社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「住居」
関連する SDGs	
対応方針	・ SNS 広告を中心に集客力の強化を図り、商談回数を増加させることによる新潟県エリアでの住宅施工実績の積み上げ ・ 高い住宅性能(耐震・断熱・気密性)と個性・デザイン性を備えた住宅新ブランド「D-GRID HOUSING」のブランド力強化
KPI	・ 住宅部門の全体の竣工棟数を 2027 年 12 月期までに累計 300 棟とする。 ・ 「D-GRID HOUSING」の竣工棟数を 2027 年 12 月期までに累計 22 棟とする。 ※2028 年 12 月期以降の目標は改めて設定する。 【2024 年 12 月期実績】 ・ 住宅全体竣工棟数：累計 81 棟 ・ 新規ブランド「D-GRID HOUSING」の竣工棟数：累計 1 棟

● 地域の環境負荷低減に向けた取組みの強化

当社は事業全体の GHG（温室効果ガス）排出量を見える化し、削減体制を構築していく。具体的には、GHG 排出量削減に向けて、電気、ガソリン、水、軽油、灯油の消費量削減等を推進していく。

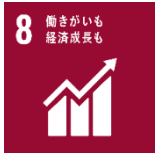
加えて、建築現場における建築廃材（廃石膏ボード）のリサイクルを推進していく。建築現場で発生した建築廃材（廃石膏ボード）を建築現場でリサイクル可能なものとそうでないものに分別し、建築廃材（廃石膏ボード）の保管中の水濡れ防止や有害物質の含有等の確認を行い、原材料（石膏ボードやセメント）としてリサイクルしていく。以上より、自社の事業活動を通じた環境負荷軽減の徹底に努めていく。

項目	内容
インパクトの種類	・ 環境面におけるネガティブ・インパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「気候」「廃棄物」
関連する SDGs	 
対応方針	・ GHG 排出量の見える化と削減 ・ 建築現場における建築廃材（廃石膏ボード）のリサイクル推進
KPI	・ 2026 年 12 月期までに GHG 排出量の「見える化」を行い、以降は毎年前期比 4.2% ずつ削減していく。 ・ 建築廃材（廃石膏ボード）のリサイクル量を 2030 年 12 月期までに 30 t 以上とする。 ※2028 年 12 月期以降の目標は改めて設定する。 【2024 年 12 月期実績】 ・ 建築廃材（石膏ボード）のリサイクル量：実績 16.1 t

● 全従業員が働きがいを持ち続ける職場環境の提供

当社の全従業員が、引き続き働きがいや働きやすさを感じることができるよう、ワークライフバランスの充実や健康保持・増進に資する取組みを強化していく。

併せて、従業員のスキルアップに繋がる資格取得の推進にも注力し、人材育成に繋げる。

項目	内容
インパクトの種類	・ 社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「雇用」
関連する SDGs	
対応方針	・ 資格取得支援を通じた従業員のスキルアップ ・ 継続的な業務効率化や労働環境の改善に加え、積極的な有給休暇取得の声掛けによる、有給休暇取得率の向上 ・ 就職活動セミナーなどに積極参加し、継続的な新規採用を実施
KPI	・ 対象資格(※1)の資格取得者数を 2030 年 12 月期までに 20 名とする。 (※1) 土木施工管理技士、建築施工管理技士、電気工事施工管理技士、管工事施工管理技士、造園施工管理技士、宅地建物取引士 ・ 有給休暇取得率を 2027 年 12 月期までに 70%以上とする。 ・ 2027 年 12 月期までに従業員数を 131 名とする。 ※2028 年 12 月期以降の目標は改めて設定する。 【2024 年 12 月期実績】 ・ 資格取得人数 15 人 ・ 有給休暇取得率 45% ・ 従業員数 118 名

7. 管理体制とモニタリング

(1) インパクトの管理体制

当社は、代表取締役社長の権瓶様を中心にサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、庭野様が中心となり、管理・KPI 達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役社長 権瓶 浩司
管理責任者	執行役員 管理本部長 庭野 茂
管理部署	管理本部

(2) モニタリング方法

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定した KPI の達成および進捗状況については、富山第一銀行と当社とで定期的に面談の場を設け共有する。本面談は少なくとも年 1 回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI 達成に必要な資金およびその他ノウハウの提供あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI 達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成した KPI に関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。なお、経営環境の変化などにより、KPI を変更する必要がある場合は、富山第一銀行と当社が協議の上再設定を検討する。

注意事項・免責事項

1. 本評価書は、富山第一銀行がダイエープロビス株式会社から提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画または状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

● 本件に関するお問い合わせ先

株式会社富山第一銀行

法人事業部 コンサルティングチーム

〒930-8630

富山市西町5番1号（TOYAMA キラリ 7F）

TEL (076) 461-3871